



平和の波
 PEACE WAVE
 FRIEDENSWELLE
 VAGUE DE PAIX
 OLA DE PAZ
 ВОЛНА ЗА МИР
 和平的浪潮
 موجة السلام

Peace Wave News

Vol. 1, 2020 年7月11日発行

親愛な友人のみなさん、

平和の波ニュース（国際版）第一号をお届けします。新型コロナウイルス感染拡大により、集会やイベントの開催には慎重さと細心さが求められますが、多くのオンライン行事や実際の行動が各地で準備されています。

IPB や廃絶 2000、全米平和正義連合などの平和運動の国際的なネットワークも平和の波に賛同し、加盟団体やグループに平和の波への参加を呼びかけています。

あなたの町での行動計画も antiatom@topaz.plala.or.jp までお寄せください。

「平和の波」を準備するさざ波行動：

広島・長崎被爆 75 年の「平和の波」を準備し、世論を盛り上げるために、アメリカでは 7 月にウェビナーが計画されており、日本からの参加を歓迎します。

アメリカ

「原爆投下から 75 年：神話を解体し、核兵器のない公正な世界を」7 月 14 日 08:00-09:30 am（日本時間）

今夏、米国全土や世界各地で、多くの人々が広島・長崎原爆投下から 75 年を想起する行動を行うでしょう。原爆投下は人道に反する犯罪であり、決して繰り返させてはなりません。夏に向けて、核兵器廃絶と正義を求める諸団体がこのウェビナーを共催します。私たちの目標は、①米国全土で、世界中で、日本原水協が世界に呼びかけている「平和の波」に連帯する行動を起こすよう呼びかける、②広島と長崎への原爆投下と人々の犠牲は、太平洋戦争を終結させ、米国人の命を救うために必要だったという、予想される不誠実なプロパガンダの波に反撃する、③警察の残虐行為や制度的人種差別から、外国軍事介入や核破局準備に至るまで、国家権力の違法な行使について理解し、これに反対する運動を構築する、の 3 つです。

**原爆投下から75年:
神話を解体し、核兵器のない公正な世界を**

オンラインイベント

7月14日（火）
8:00 am（日本時間）
日一英同時通訳あり

参加登録はこちら
<https://bit.ly/peacewave>

お問い合わせは日本原水協まで:
Email: antiatom@topaz.plala.or.jp Tel: 03-5842-6031

主催: アメリカフレンズ奉仕委員会北東部地域事務所、平和軍縮共通安全保障キャンペーン、ピースアクション、ローザ・ルクセンブルク財団、全米平和正義連合、西部諸州法律基金
協力: 日本被団協、日本原水協

 <p>木戸 季市 日本原水爆被害者団体協議会 （日本被団協）事務局長</p>	 <p>ガー・アルペロビッツ 「原爆投下決断の内幕－悲劇のヒロシマナガサキ」著者</p>
 <p>リズ・テオハリス牧師 貧しい人々のキャンペーン共同議長、ユニオン神学校 宗教・権利・社会正義のためのカイロスセンター所長</p>	

登録先：<https://bit.ly/peacewave>

主催：アメリカフレンズ奉仕委員会北東部地域事務所、平和軍縮共通安全保障キャンペーン、ピースアクション、ローザ・ルクセンブルク財団、全米平和正義連合、西部諸州法律基金

協力：日本被団協、日本原水協 連絡先：日本原水協 antiatom@topaz.plala.or.jp

ピースアクション

日本の草の根の原水協からピースアクションに 30 組の原爆組写真が贈呈され、現在ピースアクション・ニューヨーク州のサリー・ジョーンズさんが全国の草の根組織に発送作業中です。組写真には平和の波への参加呼びかけの手紙が同封され、核兵器使用が引き起こす非人道的影響を知らせ、核兵器廃絶の世論を高める行動で組写真を活用するよう促しています。「Zoom 会議ばかりのこの時期に、原水協から実際に贈り物が届くというのはとてもリアルに感じられ、感激しています。とても迫力のある写真ですね。草の根の人々がこれを公共の場で展示できる方法を探せるようお願いしています」とサリーさん。

連絡先：sallyjones@panys.org



8月6-9日の「平和の波」で計画されている世界各国の行動

戦争を超えた世界・ジャパン：「平和の波キャンドルライト行動」

75年前、トルーマン米大統領は広島と長崎に原爆を投下し、数十万の日本人と数万人の朝鮮人を殺害し、数百万人を負傷させました。8月6日から9日に世界中の都市で「平和の波」が行われます。今も日本と朝鮮の被爆者が生存しています。今年は、被爆者の1945年夏の体験を聞くことができる最後のチャンスになるかもしれません。

ここ名古屋では、8月8日（土）19時から20時に栄駅近くのスカイル前で「キャンドルライト行動」と集会が行われます。原爆投下が人々に及ぼした影響、そして当時の日本人や朝鮮人に対する白人至上主義と人種差別意識について話を聞きます。（犬山市では8月6日の朝に行動が予定されています。詳細は愛知県原水協のホームページ <http://gensui.peace-aichi.net> で。）

連絡先：ジョゼフ・エサティエ Email: srta@to.email.ne.jp

URL: <https://actionnetwork.org/events/nagoya-peace-wave>

韓国

参与連帯（PSPD）フワン・スヨン

平和の波などオンラインで皆さんが計画されている会議のプランはとても素晴らしいと思います。COVID-19 の状況はありますが、オンラインでなら多くの人々が参加できるでしょう。2020 年世界大会に、特に北東アジアの平和についての特別集会に参加できることを嬉しく思います。PSPD から集会の企画に加わりたいと思っています。

今年は朝鮮戦争勃発 70 周年で、私たちは 6 月 24 日に、朝鮮戦争終結平和キャンペーンを開始しました。「70 年は長すぎる。平和なコリアをいまずぐに！」がスローガンです。7 月 27 日に、朝鮮戦争終戦と平和条約締結、核兵器と核の脅威のない朝鮮半島と世界を求める「コリア平和アピール」国際署名運動を開始します。海外の仲間のみなさんの参加でオンライン行事も計画しており、詳細をまもなくお知らせします。

連絡先：PSPD, Email: swimming@pspd.org

社会進歩連帯 (PSSP) キム・ジンヨン

2020 年世界大会へのご招待に感謝します。日本と韓国の運動の間の協力と共同が非核平和の北東アジアを作るために不可欠だという点に全面的に賛同です。特別集会に参加できることを嬉しく思い、成功のために全力を尽くします。「平和の波」にどのように参加できるかについて、韓国政府に核兵器禁止条約批准を求めるキャンペーンも含めて検討します。さらに情報が必要ならお知らせください。

連絡先：社会進歩連帯 Email: pssp4001@gmail.com

リトアニア

トラカイ・ロータリークラブ：8月4日 —11日に原爆展

原水協から贈呈された「原爆と人間」展示パネルを使って、トラカイ城近くのヴィティネという船(写真の後方)の上で原爆展を開催します。そのもっと後方にはトラカイ城が見えます。この船は 15 世紀に建造されたリトアニアの船で、物資を積んでヨーロッパ中を航行していました。その当時のヨーロッパでは船舶が主な輸送手段だったのです。写真の左が原爆展主宰者の私、真ん中がヴィティネ号船主のヴォロセヴィシウス、そして右がトラカイロータリークラブ会長のナルケヴィシウスです。原爆展では「ヒバクシャ署名」も集め、後ほど皆さんのもとに送ります。昨日、リトアニア緑の党のリーダーたちと話をしましたが、彼らも世界大会の期間にビリニウスで行動すると約束しました。詳細は来週お送りします。原水協の友人のみなさんによろしく。



連絡先 : Gediminas Rimdeika, Email: j.g.rimdeika@gmail.com

ベルギー

モード・マルテンス ヘント平和協議会

8月6-9日に被爆者展示会として、ヘント市内の各所に大型の写真を展示し、被爆者の言葉を書いたパネルを飾ります。その横で、これらの画像を小型にしたハガキを配りながら、人々の意識を高めるために説明する街頭宣伝を行います。

連絡先 : Maud Martens, Email: maud@vrede.be URL: <https://vredesoverleggent.org/>

フランス

フランス平和運動

フランス平和運動の全国理事会は、8月6日から9日、広島で開始され核兵器廃絶を旨とする「平和の波」に全面的に参加することを決めました。全国の平和委員会組織に対して広島・長崎の犠牲者を追悼する集会や、原爆犯罪を糾弾し核兵器禁止条約の批准を求める行動を多数行うよう呼びかけました。禁止条約は核兵器の全面廃絶への道りにおける最初の目標となります。これらの行動の中で、国民は政府に核兵器近代化計画を止めるよう要求します。8月6日にはロング島の原潜基地でデモが行われます。この基地はフランスによるNPT違反が行われている場所のひとつです。

原水協から贈呈された24組の原爆写真をラミネート加工し、説明テキストとフランスでの行動の写真を加えて、8月6日から9日の間に行われる各地の行動で展示します。私たちは日本のみなさんほど組織立っていないので、行動計画がわかるのはぎりぎりになるかも知れません。

もちろん「平和の波」と核兵器についての情報をフェイスブックなどSNSを通じて、またフランス国内3万人に送っているニュースレターで知らせます。同時にこの原爆展を全ての国会議員と自治体首長、メディアに知らせます。

連絡先 : Roland Nivet, Email: roland.nivet@mvtpaix.org 又は secretariatnational@mvtpaix.org

湿地帯をめぐり平和を育む行動 : 8月6日 15-19時 (ブルージュ)

湿地帯をめぐり平和的で芸術的な行進を行います。参加者はこの中世の町の裾野にある自然遺産である湿地帯をそぞろ歩きしながら、詩の朗読に耳を傾け、詩作を行い、音楽を楽しみ、展示も見ながら、核兵器の廃絶を旨とし原爆投下の悲劇から75年についての情報を交流します。

連絡先 : ブルージュ平和運動 Jeannick LEPRETRE & Annie FRISON, Email: 18@mvtpaix.org

イギリス

ヒロシマ・ナガサキ75年CNDウェビナー

ウェビナーは8月8日(土)午後2時(イギリス時間)から約1時間行われます。ブルース・ケント氏、原水協の土田弥生さん、アメリカの平和運動代表が講演し、ケイト・ハドソン事

務局長が司会を務めます。

連絡先 : Kate Hudson, Email: kate.hudson@cnduk.org

ロンドン CND: 被爆 75 年ヒロシマデー (オンライン行事)

ジェニー・ジョーンズ元緑の党議員、マリヤム・エスラムドゥスト (カムデン区長)、ブルース・ケント (CND 副会長) が講演し、エマ・デント・コード (詩の朗読)、マイケル・ミアーズ (俳優)、ナガセ牧師 (チャントとドラム)、ヒュー・グッドエーカー (歌とギター) などの出演者が登場します。登録は <https://london-cnd-hiroshima-2020.eventbrite.co.uk> から。登録後オンライン参加の詳細が届きます。人数に限りがあるので申し込みはお早目に。締め切りは 8 月 5 日午後 4 時です。

連絡先 : London CND, Email: info@londoncnd.org

南東ロンドン CND : 「広島を思い起こす・決して繰り返すな」

8 月 6 日午後 6 時より、ピースガーデンイベント (Zoom によるオンライン) を行います。チャールトン・ハウスより生中継。平和の詩、音楽、コーラスなど。参加者から寄付を募ります。

詳細は londoncnd.org まで。



HIROSHIMA REMEMBERED
6 AUGUST 1945. NEVER AGAIN.

South East London CND groups'
Annual Peace Garden event - online
6pm Thursday 6th August 2020 on Zoom

- Broadcast live from Charlton House
- Peace Poets, music and communal songs
- Audience contributions

Full information at londoncnd.org

マンチェスター地域 CND : 平和の波ウェビナー

8 月 9 日 (日) 正午から、平和の波ウェビナーを開きます。アメリカ平和軍縮共通安全保障キャンペーンのジョゼフ・ガーソン氏は谷口稜暉さんの「原爆を背負って」英語版の出版について、原水協の朝戸理恵子さんは 2020 年世界大会と平和の波、日本の反核平和運動について話します。地元の CND と平和グループは「平和の波」に参加し、行動の計画や写真でイングランド北西部から多くの興味深い行動についての情報を寄せてくれるはずですよ。

連絡先 : Jacqui Burke, Email: gmdcnd@gn.apc.org

ドイツ

国際平和ビューロー (IPB) 主催ウェビナー : 「ヒロシマ・ナガサキから 75 年—核兵器のない世界をつくるのは今 (オンライン)」

8 月 5 日、12:00~13:30 (ヨーロッパ時間) に行われるこのウェビナーには、ベアトリス・フィン (ICAN)、ジェレミー・コービン (英労働党前党首)、ノーム・チョムスキー (米学者)、被爆者がパネリストとして参加する予定です。

連絡先 : IPB ベルリン事務所 Email: info@ipb-office.berlin

アメリカ

ジェネシーバレー平和市民の会（ニューヨーク州）

ジェネシーバレー平和市民の会は 46 年間にわたって広島・長崎原爆投下の追悼行事を行ってきました。2020 年は夕べの集会を予定しています。被爆 75 周年の今年私たちは「平和の波」に参加したいと考えています。8 月 5 日の夜 7:15 に夕べの集会を行います。これは日本で平和の波の起点行動が行われる時間です。できれば日本の平和の波に参加する人々と電話でつながって、核戦争に反対して行動する私たちがお互いの行動を交流し、連帯のあいさつを交わしたいと考えています。どのようにすればそれが可能でしょうか？

連絡先 : Arnold Matlin, GVCP Email: AHMatlingvcp@igc.org

アッパー・ハドソン・ピースアクション（ニューヨーク州オルバニー）／バーチャルな対話とソーシャルディスタンスをもうけた夕べの集会

行事は 2 部に分けて行います。8 月 6 日は一日中、アッパー・ハドソン・ピースアクションのフェイスブックページに、ジョン・ハーシー作「ヒロシマ」からの抜粋と、原爆投下に関する発言、公開文書、被爆者の言葉、ビデオ、写真などを次々に掲載します。みなさんがオンライン上でこれらについて感想を寄せ、討論するよう呼びかけます。みなさんのコメントは集約してホームページに掲載します。8 月 6 日の夕方には、（ソーシャルディスタンスをとって）みなさんが自宅の窓辺に平和の折り鶴（作り方はフェイスブックに載せます）とキャンドルを灯し、それを写真に撮ってフェイスブックにシェアするよう呼びかけます。

連絡先 : Linda LeTendre: letendre.linda@gmail.com URL: <https://peaceact.net/>

Facebook: <https://www.facebook.com/UpperHudsonPeaceAction/>

ヒロシマ追悼 75 年集会（ロードアイランド州ジェームズタウン）

8 月 6 日正午から 2 時まで、市内のイーストフェリーで、「ヒロシマ・ナガサキを繰り返すな」、「上院は核兵器禁止条約を批准せよ」との横断幕を掲げて、集会を行います。NPT 締約国市民社会共同声明を読み上げます。参加者にはマスクをつけ、ソーシャルディスタンスを保つよう求めます。

連絡先 : William Smith III 401-423-0433 and Marcie Lindsay 401-787-2730.

Email: william3@finewoodcarving.com

ボルチモア第 36 回ヒロシマ・ナガサキ追悼行事（メリーランド州ボルチモア）

ヒロシマ・ナガサキ追悼委員会は、1945 年 8 月 6 日・9 日に 20 万人の犠牲者を出した日本への原爆投下を想起する 36 回目の集いを開きます。ボルチモア非暴力センター、ボルチモアピースアクション、チェサピーク社会的責任のための医師の会、ホームウッドフレンズ会、メリーランド核戦争阻止の会が共催します。集いは 8 月 6 日（木）午後 6 時 30 分から、ボルチモア市内の 33 番通りとノースチャールズ通りの交差点で行われ、参加者はジョンズ・ホプキンス大学（JHU）付近の交差点に集います。JHU は、教育機関では最大規模の核兵器関連研究を委託されています。2017 年会計年度に JHU は 8 億 2800 万ドルの契約を受注しましたが、これは国内のどの大学と

比べても倍以上の額です。核兵器契約による活動のほとんどは JHU 応用物理学研究所で行われ、2017 年には 9300 万ドルで空軍核兵器センターとの戦略的連携を継続する 7 年契約を更新しました。参加者はプラカード、横断幕、タペストリーほかアート作品を掲げて核兵器研究を糾弾し、「絶滅の淵からの生還」決議、核兵器廃絶への 5 つのステップを支持し、国連核兵器禁止条約への批准を求めます。また「黒人の命は大事」抗議行動を支持し、警察の非軍事化と軍の非核化を要求します。この交差点は行動参加者が集まれる場所がいくつかあり、参加者がマスクをして 6 フィート離れて集うことができます。このデモは、最大の戦争犯罪から 75 周年にあたり、世界中の多くの人々と連帯するものです。参加者はインタビューに答えて JHU が核兵器研究契約を止めるよう呼びかけます。

8 月 9 日（日）は午後 1 時から 2 時半、長崎への原爆投下を追悼する行事が行われます。詳細は以下にお問い合わせください。

連絡先：Max Obuszewski at 410-323-1607 or mobuszewski2001@comcast.net.

URL: <http://baltimorenonviolencecenter.blogspot.com/>

仏教徒平和フェローシップ／チャールズ・ストレイン（イリノイ州シカゴ）

8 月 6 日は広島原爆投下から 75 周年であり、私たちは 75 年のあいだこの悲惨な出来事と軍拡競争の影に生きてきたこととなります。例年のように、平和グループの有志はシカゴ大学キャンパスのヘンリ・ムーア像の前に午後 5 時に、ソーシャルディスタンスをとったうえで集合します。この 4-5 年と同様、仏教徒平和フェローシップはこの集会を主催します。友人や多くの組織に参加を呼びかけてください。共催団体を募集中です。費用はかかりません。集会で発言（1 人 5-7 分）したい人は私に知らせてください。外出したくない人のために、8 月 6 日夜にバーチャルイベントを行うかも知れません。

連絡先：Charles R. Strain, Email: CSTRAIN@depaul.edu, Phone: 847-702-6475

サダコ平和デー：核時代平和財団（オンライン）カリフォルニア州

8 月 6 日 18:00（米太平洋時間）、核時代平和財団は「サダコ平和デー」をオンラインで開催します。詩、音楽で交流し、広島・長崎への米国の原爆投下 75 周年を振りかえる機会です。今年の基調講演者は広島の被爆者でユタ州ソルトレークシティに住むカノウトシハルさんです。この行事はライブ中継されます。

連絡先：Rick Wayman: rwayman@napf.org URL: <http://www.wagingpeace.org/sadako2020>

カナダ

フィリス・クレイトン 平和のための科学／トロント広島・長崎デー連合

2001 年と 2005 年の原水爆禁止世界大会にトロントから参加した代表として、私は世界中で行動を行う皆さんに心からのごあいさつを送ります。この行動が世界中に連帯を築き更なる行動を促すものとなりますように。核兵器のない、平和で公正な世界に向けて、緊急に進展を作る必要があります。みなさんが集う時間が互いの理解を深めてくれるものとなりますように。

トロントで私たちは、「被爆 75 年：カナダと核兵器、国連核兵器禁止条約」と題したオンライン行事を開きます。セツコ・サーローさんが被爆者としての体験を語り、私は、核兵器を開発したマンハッタン計画にカナダがウランとともに科学技術を提供してきたこと、さらにウランと原子炉を提供して核兵器保有国を増やし、NATO 核同盟を支援してきたことについて話します。私たちの心はみなさんとともにあります。

連絡先: Phyllis Creighton, Email: phyllis.creighton@gmail.com

核兵器禁止を求めるロータリアンの会

ロータリアンの会は 2 つの会議を企画しています。1 つ目は 8 月 5 日午前 10 時開始（カラチ・インド時間同日午後 7 時）で、IPPNW のアイラ・ヘルファンドが「瀬戸際からの後退」、スーシー・スナイダーが「核兵器に投資するな」と題して講演し、アルン・ミトラ医師も話します。もう一つの会議は、8 月 10 日（時間は同じ）に行われ、戦争のない世界と核時代平和財団を代表してアリス・スレーター、We Are One, Future Wave を製作したアーサー・カネギス、ロータリー・インターナショナル次期会長のシェカール・メータが講演します。

連絡先 : Richard Denton, Email: rdenton@nosm.ca